

平成26年9月定例会における基本構想関連一般質問

資料5

| 会派 | 質問要旨 | 答弁要旨 |
|-----------------|-----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 公明党 (石川市議) | 矢切観光拠点と水陸両用バスの導入のイメージについて | 水陸両用バスの乗船場、公園、バーベキュー場、レンタサイクル、売店レストランなど、地域の特性を活かしつつ、賑わいを創出する施設を設置したいと考えている。 |
| | 観光拠点の場所及び運営形態について | 規模や設置場所、運営形態などについては、今年度より検討を行う。 |
| 松政クラブ (石井市議) | 基本構想における財政負担額について | 基本構想はまちづくりの指針であり、現段階では財政的な裏付けはない。 今後作成される個別計画の中で検討する。 (国や県の補助・支援制度、民間活力の導入、市所有地の売却益などにより財政負担を軽減していきたい。) |
| 共産党 (宇津野市議) | まちづくり委員会の役割について | 「まちづくり基本構想の策定」や「各種事業計画」について、調査審議することを目的としており、個別計画の優先順位や効果、事業内容の是非についても審議していただく。 |
| | まちづくり基本構想の市民への周知について | 市HPに素案を掲載しているが、広く情報発信を行っていく必要があると考えている。 パブリックコメントの実施も予定しているが、素案を説明する機会についても検討する。⇒11/5市民説明会開催(115名) |
| | 新拠点ゾーンまでのアクセスルートの必要性について | 国道6号線から新拠点までのアクセスルートについては、新拠点ゾーンの開発ポテンシャルに大きく影響することから、非常に重要であると認識している。 |
| | 新拠点ゾーンに何をイメージして用地確保を公園移転を計画しているのか | 官舎跡地や松戸中央公園など、一体的な開発を行い、松戸のランドマークとなる多機能拠点としたいと考えている。松戸中央公園と相模台公園の配置を見直し、緑空間、防災拠点、憩い、賑わい、オープン空間など魅力ある公園をイメージしている。 |
| | 松戸駅から新拠点ゾーンまでの歩行者アクセスルートの確保について | 駅周辺と新拠点の高低差の解消など、課題も多いが、非常に重要であることから、東口デッキ網のバリアフリー化や拡幅・新設などの再整備も必要であると認識している。 |
| | 新拠点ゾーンに配置される施設について | 関係各課と調整を行いながら、あらゆる可能性について検討を行う。 |

| 会派 | 質問要旨 | 答弁要旨 |
|-----------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市民クラブ (大井市議) | 松戸駅周辺の公共施設再編の方向性と新拠点ゾーンへのアクセス手法について | 公共施設再編整備計画と連携を図りながら進めていく。新拠点ゾーンへのアクセスは、デッキのバリアフリー化・拡幅・新設、道路形態など、開発規模に相応しいアクセスを土地利用計画とあわせて、基本的な方向性を検討していく。 |
| | 商業・業務ゾーンにおいて、地域を牽引するリーダーシップをもつ人材の育成の基本的な考え方について | 施策を進める上では、地域を牽引するまちのリーダーの育成と、権利者の理解・協力が重要と考えている。経済部局、商工会議所と連携するとともに、地元商店会、大規模店舗、まちづくり団体などと協働で、取り組んでいきたい。 |
| | 水・歴史ゾーンにおける回遊性の考え方について | 松戸駅周辺を回遊したくなるような歩きやすいアクセスルートや、街なみの形成を図っていきたい。新拠点ゾーン、商業業務ゾーン、まちに点在する観光資源、さらには矢切観光拠点周辺までもが一体となった回遊性あるまちづくりを目指していきたい。 |
| 無所属 (桜井市議) | 松戸駅東口エスカレーターの設置について | 駅前広場やデッキの再構築、エスカレーター設置の基本的方向性について、新拠点ゾーンの土地利用と併せて今年度より検討する。 |
| | 中央公園周辺の複合施設は、具体的にどのようなものを建設するのか。 | 松戸のランドマークとなる、賑わいの創出とまちのイメージアップにも寄与する新拠点を官民連携で形成したい。 |
| | 基本構想の財源の裏づけについて | 基本構想はまちづくりの指針であり、現段階では財政的な裏付けはない。今後作成される個別計画の中で検討する。(国や県の補助・支援制度、民間活力の導入、市所有地の売却益などにより財政負担を軽減していきたい。) |
| | 市民会館、伊勢丹を結ぶ南側東西通行路について | 東西間の歩行者動線の強化と駅改良による集客効果を周辺地へ波及させるため、効果的な動線計画を今後検討する。 |